



第 1386 回例会報告

平成26年10月30日(木)晴

会長挨拶

会長 吉澤邦雄

国際奉仕活動に参加を！

本日はチャーターメンバーによる卓話です。創立時の熱気を直接肌で感じ、気概を持って今日の諏訪湖 RC を導き、作り上げてこられた方々の貴重なお話です。既に、当時を知るメンバーは殆どおらず大多数の会員は当時の状況を知りません。是非本日は当クラブの歴史を知り、30周年を振り返る良い機会にさせていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

昨日、2600地区国際奉仕委員会による「第1回ミダナオ子供図書館財団活動支援のための勉強会」が委員長である渡邊さんの会社で開かれました。先の地区アンケートで興味を示し参加の意思表示をした4クラブより関係者が集い、今までの経過と現状説明、また今後の予定等が話し合われました。

当地区では、新たな制度になったグローバル補助金を使った例はまだありませんが、委員長の強い意志と賛同クラブが増えたことにより実現しそうな状況になりつつあります。新たな補助金制度については改めてまた説明の機会を持ちたいと思えますが、グローバル補助金については補助

金が3万ドル(300万)～20万ドル(2000万)と高額で、活動が実施される国のクラブまたは地区とそれ以外の国のクラブまたは地区がパートナーとなって協力する必要が有ります。

いずれにしても、当クラブはマッチング・グラント等によるセブ島支援の実績があり、国際理解、親善、平和を推進するという国際奉仕活動についてはかなり理解が進んでいるクラブだとは思いますが、まだまだ一部の会員が関わっているだけの事業です。実際に活動に参加すれば必ず奉仕の喜びを知り、奉仕による恩恵を得ることができます。是非理解を深め参加していただきたいと思えます。

◇幹事報告◇

【連絡事項】

- 1) 中川博司ガバナー事務所よりロータリーカード勧誘のお知らせが届きました。
- 2) 11月6日小林聖仁会員が秋の園遊会に招待されました。
- 3) 11月1日13:00～世界アルツハイマーデー特別講演が男女共同開発センターで開催されます。小笠原会委員の奥様が世話人をしています。多数ご参加願ひします。
- 4) セブ支援旅行カンパ募金箱を回します。よろしくお願ひいたします。

■出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	31名
出席率	83.8%
前回修正	94.6%

■ニコニコBOX

6名	8,000円
累計	194,000円
目標額	60万円
達成率	32.3%

■今週のことば

本日は創立時の熱気をぜひお伝えください。

吉澤邦夫

おととい(10月28日)初孫が生まれました。ありがとうございます。

萩田均



第 1386 回例会

担当 30周年特別委員会

30年前を振り返る

大澤邦彦

30年前創立にかかわったキーマンメンバー(30人)は、現在、尾上、溝口両先輩が御健在であります。又、チャーターナイト(認証状伝達式)に参加した所謂チャーターメンバーは、近江、林、渡辺、平山会員とわたくし大沢が健在であります。

第一回例会は、昭和60年12月5日 諏訪信用金庫3Fで行い、第2回例会は、12月12日新装なったうらかめやが例会場となり、諏訪湖ロータリークラブ創立総会が開催されました。従って、クラブの創立記念日は12月12日であります。



初代会長に永田広太郎さん、幹事野澤知之さん、会員30名で創立された。その後23名の仲間を集め総勢53名となりました。そして、翌年昭和51年3月15日の認証状伝達式を迎えました。

当時の260地区(2600地区ではありません)のエリアは、名古屋地区も含まれ、300余名の認証賞伝達式への登録人員があり、盛大に式典が挙行されました。

永田会長の挨拶は「諏訪のシンボル“諏訪湖”の周辺に生きがいを求め活動する53名の同志相集い、その名を諏訪湖ロータリークラブと名付けたのであります。これからは、奉仕の理念に燃えながら「湖」を友愛、奉仕の精神を映し出すクラブの大きな鏡として、会員の厚い友情と親睦を益々深めて参りたいと願いたします。今日の佳き日を契機といたしまして、ロータリー理念を広め、奉仕

の実践を果たす為、明るい地域社会づくりに大いに努めて参る所存であります。」と堂々と挨拶したことを裏方(幕引)にいた私は鮮明に覚えておりませぬ。

あれから30年、時を重ね、時代の変化と共に変革してきたロータリー活動が、創立した先輩達の思いに合致したかは疑問ではありますが、奉仕の実践を果たす為に微力ながら一步一步進み、継続されていることに感慨深いものがあります。

諏訪湖ロータリーの

素晴らしき仲間たち

溝口幸二

諏訪湖 RC に居続けて、いつの間にか三十年経ってしまいました。30年前、チャーターナイトの時、挨拶に立った当時のガバナー愛知の福田氏は「ロータリーは男のロマンだ!!」といわれたことが鮮明に記憶に残っています。

昭和45年5月に歯科診療所を下諏訪に開設した当時、日本は虫歯の洪水でした。そんな中で、最善の治療をしようと頑張ってきた私には、ロータリーの職業奉仕の理念はとても魅力的でした。入会した当時の会員は、諏訪地区の色々な事業の代表者で、この人達から毎週聞くお話しは、専門バカの私にとって新鮮で有益でもありました。

しかし、7~8年すると長野県という領域でのロータリーに飽きが来てしまいました。ロータリーって一体何だろう? 9期の会長をお受けした時、改めてロータリーについて勉強しました。特にロータリーの歴史を調べた時、改めてロータリーの素晴らしさを知り、毎週の会長挨拶にロータリー紹介をしました。

そして、国際ロータリーの素晴らしさを実感する為、何回も国際ロータリーの年次大会に参加し、開会式だけでなく、全4日間本会議や分科会にも出席しました。本会議場で、分科会で、そして友愛の広場で、沢山の有益なロータリー活動を知り、多くの素晴らしいロータリアンと知り合いになることが出来ました。

2007年ソルトレークでの大会閉会式のあと、ホテルのレンタカー事務所でヨークの女性ロータリアン コニーと出会う、以後7年間彼女がリーダーである国際医療奉仕活動に参加し続けることとなりました。この7年間にわたる国際医療奉仕で、たくさんの素晴らしい友達が出来ました。



いま、ロータリーに不満を持っている人は、国際大会でも、我がクラブでやっている国際奉仕事業に参加してみることをお勧めします。それは貴方にロータリーの素晴らしさを実感させてくれるし、色々な国の人達と友達になれるからです。

結婚して50年、ロータリーに居続けて30年、どうしてそんなに続いているのか?テレビで、ある熟年カップルへのインタビュアーの問いかけ、“ここまで長続きした秘訣は?” 旦那の答え=「マー一年我慢して、あとは馴れだな。」ロータリーも同じようなもの、ただそれはクオリティの高い馴れだと思います。それは私の仲間、諏訪湖 RC の一人ひとりが高い資質の持ち主だからです。そんな

資質の高い仲間と交流できることが、私にはとても幸せなのです。

そのことを私はペルーで初めて国際医療奉仕活動を終えて、帰路ワシントンに着いた時、これから1週間ホームステイする家の日本人女性ペギーさんに教えられました。ダレス空港から、彼女の家のあるメリーランドの町に向う車の中で、彼女は

「溝口さん、貴方は素晴らしいひとたちとお付き合いをしているのね。」いぶかる私に彼女はこう答えました。「貴方を探している時、ロータリーのT-シャツを着ている人達に、コージ ミゾグチを知らないか」と尋ねると、「コージならもつと奥のほうにいるよ、ここで待っていればすぐ出てくるはず」そこで私を待っている間、彼らと話していたそうです。その会話で、彼女は彼らが素晴らしい人たちであることがわかったそうです。

彼女は東京下町の生まれで、戦後まもなく女学校卒業後、九州の米軍基地で働き、若い空軍士官と結婚し、以来60数年アメリカ人社会で暮らしてきたので、人の善し悪しが、少し会話をしただけでわかるんだそうです。それが先ほど述べた、「貴方は素晴らしい人達とお付き合いしてるのね。私ロータリーって知らなかったけど、こんな素晴らしい人達のグループなのね」と云う言葉になったわけです。これを聴いたとき、私は涙が出るほどうれしく、感激しました。

そして気がつきました。諏訪湖 RC の仲間も素晴らしい仲間なのだ、と。

創立30周年記念事業

子供たちと、諏訪湖の未来を 考えてみよう

11月2日心配された天候も晴れ、総勢80名以上のロータリアン、下諏訪中学生徒先生、高島小学校児童父兄先生、ガールスカウト長野15団、信州大学山地水環境教育研究センターの教授学生などの参加を得て盛大に開催されました。

